

丹波市オンラインプロジェクト活動計画書

2020年6月3日

京都大学公共政策大学院 1年

藪下 文也

1. 丹波市オンラインプロジェクトについて

「丹波市オンラインプロジェクト」は、コロナウイルスの影響から、故郷・丹波市の子どもたちの教育を守るために、創設されたプロジェクトです。活動メンバーは、丹波市出身の学生・社会人を中心とした若者12人で構成されています。私たちは、クラウドファンディングや募金活動を通じて、丹波市の教育を守るために必要な資金や資材を収集し、丹波市に提供することを目的として活動しています。現在ではオンライン環境の整備支援を中心に活動を進めています。私たちはこの活動を通して、丹波市においてコロナウイルスによって生じる教育課題（教育格差、学習の遅れ等）が最小限のものとなることを願って止みません。

2. 立ち上げの経緯

今コロナウイルスが日本中を襲っています。経済活動や国民生活が脅かされ、誰にも先行きが見えない中で、将来への不安だけが日本全体を飲み込んでいます。私の故郷・丹波市も例外ではありません。5月には兵庫県下で緊急事態宣言が発令されたことに伴い、丹波市でも、経済活動が制限され、外出規制が敷かれていました。また市内でもコロナウイルスの感染例の報告がありました。

そのような状況の中で、私は偶然、丹波市の教育の現状について耳にする機会がありました。そしてその状況が非常に重大なものであることを知りました。丹波市では少なくとも5月末までは、子どもたちが十分な教育を受けられる目処が立っていませんでした。そしてその教育を補完するツールも、圧倒的に不足していることが明らかとなりました。これを受けて私が感じたことは2つの問題意識でした。

①子どもたちが十分な教育を受けられない重大性

②今後日本全体で教育格差が生じる危険性

①についてはいうまでもなく、このコロナショックが長引けば長引くほど、子どもたちの教育は遅れていき、発達段階で不可欠な基礎教育というものが十分に保障されなくなる可能性があります。②について言えば、それぞれの自治体の財政規模等が、子どもたちの教育環境の差に影響を与える可能性があります。

このコロナショックの下では、政府の政策は時間的・予算的にも限界があり、対応の大部分が自治体に任されています。そうすると、財政的に豊かで比較的恵まれている自治体ほど、解決に向けた迅速な対応ができ、そうでない自治体ほど、その波に遅れていく可能性があります。この差が大きくなればなるほど、豊かな自治体とそうでない自治体の間で、子どもたちの教育格差が広がっていくのではないのでしょうか。

このような課題に対して、自治体の方々や学校現場の方々は解決に向けて、必死に取り組んでおられます。しかし今の状況は歴史に類を見ない緊急事態であるため、必ずしも有効な対策がなされているわけではありません。ここにおいて私は自分たちにも何かやれることはないだろうか、少しでも地元の

人たちを支えられる方法はないだろうかと考えました。

私は丹波市で生まれ、丹波の温かい人たちに見守られて育ってきました。

丹波で受けた教育があるから、今の自分がある。そう考えると、私は育んで

くれた故郷に対して少しでも恩返しがしたい。このような思いに駆られた私

は、中学校時代の友人を中心に、思いに共感してくれる仲間を集め、「丹波

市オンラインプロジェクト」を立ち上げました。

3. 活動目標

丹波市の全中学校に対して、コロナウイルスの影響下で必要な資材の寄付を

行い、子どもたちの教育を支援する。

4. メンバー

丹波市出身の学生・社会人を中心とした 23 歳世代の若者 12 人

5. 活動内容

- ① 丹波市における教育課題の調査
- ② 丹波市内外の人たちに対する寄付の呼びかけ
- ③ 教育に必要な資材の購入
- ④ 各中学校や丹波市教育委員会に対する資材・資金の寄付

6. 寄付対象

丹波市教育委員会、および丹波市に所在する7中学校

7. 目標金額

460,000 円

8. 寄附金用途

項目	個数	単価	金額	備考
web カメラ	22	4000	88,000	青垣×1 氷上×14 市島×1 春日×1 山南×5
タブレット	66	6000	354,000	青垣×7 氷上×23 市島×10 春日×13 山南×6
手数料等			18,000	クラウドファンディング手数料、郵送費等
合計			460,000	

※1 和田中については充足しているという報告があったため、換算しない

※2 目標金額を上回る分については丹波市に直接寄付するか、衛生用品（アルコール、消毒液等）の購入を検討している

9. 集金方法

- ・銀行振り込み
- ・電子決済（Line Pay、Paypay 等）
- ・クラウドファンディング（campfire）
- ・丹波市民に対する直接的な寄付の呼びかけ（市内イベントや各 PTA に対する働きかけを通じて）

10. 資材調達方法

オンラインショッピング（アマゾン、楽天等）や店頭購入を予定

11. 活動計画

日付	活動内容
6/1~6/7	集金開始に向けた準備

6/8~6/21	集金
6/22~6/28	購入手続き、および寄付
6/29~6/30	活動の取りまとめ

12. これまでの活動

「柏原中学校に対するオンライン環境支援」

- ・ 寄付総額 【168, 468 円】【63 人】（5 月 17 日 15 : 00 時点）
- ・ 柏原中学校に Web カメラ 8 台、タブレット 12 台、wi-fi ルーター1 台を
寄付
- ・ 柏原中学校に活動と寄付内容についての説明、デモンストレーション

活動プロセス

日付	活動内容
5/1~5/5	丹波市内小中学校、家庭、兵庫県、丹波市、教育委員会、文科省の状況調査
5/6	課題の洗い出し→解決方法の決定→計画の策定→役割決定→実行プロセスへ
5/7~5/15	SNS にて寄付の呼びかけ・拡散

5/16~5/17	集計・取りまとめ
5/18	柏原中への寄付
5/20	全機材の寄付終了